

大 輪

発行：島根県社会福祉協議会内
島根県知的障害者施設保護者会連合会
松江市東津田町 1741-3
いきいきプラザ島根 5 F
TEL 0852-32-5976 FAX 0852-32-5982

VOL. 41

平成 29 年 12 月 発行

施設利用者の明るい未来のために

島根県知的障害者施設保護者会連合会副会長 福間 廣明

最近、ご家族の方と語り合うときに、「この子らの将来はどうなるかね〜。」という話がよく出されます。若いご家族はそれなりに、高齢者の方々はさらに深刻さを込めながらの言葉で、俗にいう「親亡きあと」のことです。

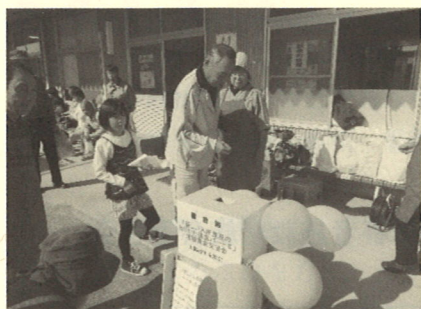
私も69歳になる姉の身元引受人として避けては通れない課題の一つであると思っています。施設によっては、看取りさらには最後まで支援をしていただけたところがあるとは聞いていますがレアケースであると思います。65歳問題もありますが、いずれは住みなれた施設を離れ介護施設に移ることになるのが現実の流れではないかと思っています。

なぜ、このような流れになるのでしょうか、正直言って、法律の仕組みがそうさせているのであります。施設に過大な要求をすることには限界がありますので、法律の仕組みの中で出来るようにしなければなりません。

このためには何をどのようにすればよいのでしょうか。私たち関係者が動かなければ、だれも進めてはくれないと思います。

全施連では「新しい入所施設のあり方提言パートII」の作成に向けての作業が進んでいます。この提言は、私たちの活動の指針となるもので具体的にわかりやすくするためのもので関係者が同じ目標をもち、ともに考えながら行動していくことは大切なことであると思っています。

このパートIIは是非まとめ上げていかなければなりません。このパートIIの作成作業にあたっては資金カンパ活動が展開されています。



私が所属しています太陽の里家族会でも予算の中から一定額を拠出するとともに11月3日開催されました「太陽の里まつり」でカンパ活動を行いました。

募金への協力依頼文言に興味を持って読んでいただく方や「少しですが役立てて下さい。」とお孫さんと一緒に募金していただく方もおられ、頭が下がる想いでした。

利用者の明るい未来のために私たちが動けば、多くの方々にも理解していただけることを肌で感じた一日となりました。

『一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会 第13回全国大会 in 秋田』が開催されました

日 程：平成29年10月3日（火）～4日（水）
場 所：秋田キャッスルホテル
内 容：○行政説明『障害保健福祉施策の動向』

厚生労働省

障害保健福祉部障害福祉課 地域生活支援推進室

虐待防止専門官・障害福祉専門官 片桐 公彦 氏

○講演 テーマ：『安心、安全、快適な生活の場を考える』

講 師：全施連 副理事長 南 守 氏

○全員参加型討論会

全施連全国大会第13回全国決議

障がいのある方々の重度化・高齢化、さらには、家族の高齢化も深刻で、在宅で我が子を支えることが困難になってきています。

我が子の将来を悲観して心中するなどの悲惨な事件や、障害者をめぐる人権侵害や虐待、痛ましい殺傷事件も起きてきており、障害者を取り巻く環境は厳しさを増してきています。どんなに障害が重くても、高齢になっても、本人、家族が安心して生活できる場を作ることが急務となっています。

私たちは障害者の権利を守り、意思決定支援や、安心して生活ができる場を求めて、次の事項を本大会の決議といたします。

決 議

1. 24時間切れ目のない支援・介護が可能な障害者支援施設やグループホーム、地域生活支援事業施設の充実をしてください。またグループホームや地域生活支援事業施設では、栄養士や看護師、介護福祉士などの配置ができるような報酬体系にしてください。
2. 安心して必要な支援・介護が受けられる職員の定員増と、更なる処遇改善費の充実をしてください。
3. 知的障害児者や強度行動障害への専門的な知識、技術が習得できるよう、更なる研修体系の充実を図ってください。
4. 国及び地方公共団体は、知的障害児者への障がい福祉サービスを提供する義務を負ってください。
5. 「我が事・丸ごと」理念や「共生型サービス」の新設については、知的障害者が慣れ親しんだ施設を引き続き利用できるようにしてください。

平成29年10月4日

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会



感想

第13回全国知的障害者施設家族会連合会全国大会(秋田)に参加して

社会福祉法人上口福祉会 障害者支援施設 まがたま荘 生活支援員 松本 啓介

10月3日・4日の両日開催された、全施連全国大会（秋田県秋田市）に、当施設より、家族会2名、職員1名で出席させていただきました。

利用者の皆様の高齢化、重度化に伴い生じる様々な問題、課題について、ご家族の高齢化、意思決定支援、終の住処、強度行動障がいなど、それぞれの観点から、各県の取り組み、施設の取り組みを議論する大会となりました。

中でも全施連、由岐理事長の「親として思うこと」で紹介された詩、「知っていますか」「あなたのお母さんでよかった」は、非常に強い印象で、心を打たれ、聴きながら時間が止まったのを覚えています。

利用者様一人ひとりの、貴重で尊い時間に寄り添う立場の者として、心身ともに居心地の良い場所、その人が輝ける生活の場作りを、職員、家族、地域で実現していくことが重要であることを強く思いました。

※（詩画集）あなたのお母さんでよかった（著者）石井 恵子（編集）幸の実園

平成29年度しまね県民福祉大会が開催されました

期 日：平成29年9月23日（土）

会 場：くにびきメッセ「国際会議場」（松江市学園南1丁目2-1）

内 容：第1部 式典

表彰及び感謝状の贈呈

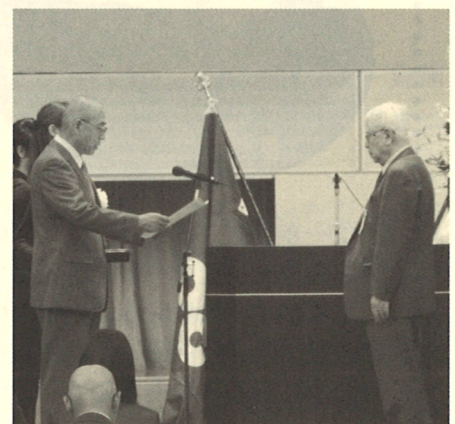
島根県知的障害者施設保護者会連合会会長表彰

功労者表彰：佐川 安弘氏（清風園保護者会）

第2部 講演

「よろこびを力に・・・」

講師：元マラソン選手 有森 裕子氏



施設保護者会活動状況

こくぶ学園



こくぶ学園の保護者会では、年間の大きな活動として①保護者総会、②親子遠足、③こくぶ学園夕涼み会への参加、④こくぶ学園秋祭りでの模擬店販売、⑤一年を振り返る会、⑥退園式を行なっています。

①年度初めの保護者総会では、新しくこくぶ学園に入所された新しい園児の保護者も含めた顔合わせ、新役員の選出、年間の活動計画の確認等進めました。

②親子遠足は、今年度は松江フォーゲルパークへ園児、保護者、職員総勢68名、マイクロバス4台で賑やかに出かけしています。親子でのバイキング昼食にフォーゲルパーク内の色鮮やかな花々、癒される動物たち、バスの道中も含め笑顔沢山、思い出いっぱいの楽しい1日になりました。

③今年度のこくぶ学園夕涼み会は7月20日(木)に開催しています。園児みんなでの演奏や歌などの児童発表、地元神楽社中による勇壮な石見神楽の上演など、保護者も一緒に夏の夕べのひと時をゆっくりと過ごしました。夕涼み会が終わると園児たちは待ちに待った夏休みへ突入です。



④10月7日(土)に行われた秋祭りでは、毎年保護者会で模擬店の販売を行なっています。前日は雨で当日の天候が心配されましたが、秋祭りはみんなの願いが届き1日雨は降ることなく終えることができています。

夏休みの間もずっと練習を重ねてきた園児の歌やダンスは本番でも素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。それ以外にも地元の保育園や中学校、団体によるステージ発表で、会場は大賑わいとなっています。模擬店の販売も大忙しでしたが、会場で園児はもちろんのこと、地域のこどもたちや皆さんが沢山来場くださって一緒にお祭りを楽しんでいる姿を見て感激でした。



⑤一年を振り返る会では年間の活動をまとめた映像の上映会を行い、⑥退園式ではこくぶ学園を退園し自立の一步を踏み出す園児を皆でお祝いしています。

こくぶ学園保護者会は、年間の様々な活動を通じて、親同士の交流を深めながら子どもたちの成長を支えていくことはもちろんのこと、地域とのつながり、支え支えられる関係作りを大切にしていきたいと考えています。